

富山善銀

第166号

発行所
公益社団法人
富山県善意銀行
富山市桜橋通り1-18
北日本桜橋ビル5階
電話・FAX(076)431-2239
印刷所
北日本印刷株式会社



【富山県立雄峰高等学校家庭クラブより預託をいただきました】

私たちの活動

(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動

(4) 貸し出し活動

(5) 拡充活動



子ども食堂の未来

富山県子どもほっとサロンネットワーク会長

田辺 恵子

自分の子どもの頃は隣近所が常に廻りを思いやり、居心地の良い空間でした。近所のおばさんがおかずを届けてくれたり、ご飯を食べさせてくれたり、廻りの人たちは良い意味でのお節介で叱ったり等、皆で子育てしてくださいました。

昔の温かい見守りのように、子育て中の親の皆さんに負担を感じさせないで、自然にお手伝いできるのが理想です。その良い例が子ども食堂にお手伝いに来ている高校生たちと子どもたちとの触れ合いです。小さな子どもたちはあこがれのお兄さんやお姉さんの様子を見て、食後の食器を洗い場へ運んだりと自然にお手本になっていきます。家ではする機会のないことですが、お手伝いすることで成長に繋がっていると感じます。

子ども食堂は貧しい家庭の子どもが対象と思われがちです。私たちが運営している子ども食堂は子どもたちが安心して暮らす場を提供も考えて始めています。助け合いは個人情報への侵害ではなく、できないことがあればできる人が代わりにする、すぐにはできなくても時を経て助けてあげられる立場になると思います。年を重ねた私たちは今その立場なのです。オタヤ子ども食堂は2015年12月に県内第一号の子ども食堂として発足。毎月第2・第4土曜日に御旅屋セリオ6階で行っています。2023年4月8日157回を経て延べ人数は25935名に上ります。子ども食堂が今に繋がっていると感じているのは、7年前に来ていた子どもが高校生になってボランティアに来てくれるのは、また、コミュニケーションの手段としてボランティアの方に将棋の指導をしてもらったりクワガタの幼虫や成虫を見せてもらったりしました。子どもたちは目を輝かせて喜んでいました。

現在は食事の提供だけではなく、ひとりで子育てをされているお母様方の不安や悩みを聞く医療従事者の方や保育士の方のアドバイス相談コーナーも開設いたしました。オタヤ子ども食堂は子どもも誰もが楽しく

トルコ・シリア地震 お見舞い申し上げます。

令和五年五月

(公社) 富山県善意銀行

理事長 河合 隆

役員一同

食事をして、楽しく穏やかに過ごせる場になるように、昼食の提供やほんの少しのサポートをして応援していきたいと思えます。子どもだけでなく大人にもやさしい場所でありたいと思っております。

子育ての時間は振り返れば非常に短いものです。皆様には貴重な時間を心から楽しく、過ごしていただきたいと思います。

「富山県立雄峰高等学校家庭クラブ」 より今年も預託をいただきました

毎年、富山県立雄峰高等学校家庭クラブの皆様は卒業式前に文化祭で集めた募金を富山県善意銀行に預託して下さいます。今年も2月14日(火)に生徒さん3人と先生で募金を本行事務室まで届けて下さいました。

本年度は、家庭クラブは文化祭でパン屋の模擬店を行い、6種類の菓子パンや総菜パンを作って販売したそうです。来場者に喜んでもらえるように、味や形を工夫して作成したパンは、すごい人気で完売したそうです。クラブの皆さんは、作成や販売に手応えを感じ喜びを分かち合ったそうです。その、パン屋の模擬店の店先に富山県善意銀行への募金箱を置いて下さり、来場者に呼びかけて下さいました。募金には、家庭クラブの皆さんの思いやりと来場者の皆さんの優しさがたくさん詰まっています。本当にありがとうございます。皆さんの思いを生かせるよう大切に使用させていただきます。

3人の卒業後の進路について聞いたところ、4月から県内、大阪、東京の専門学校等に進学し、自分の夢に向かって頑張っているという笑顔で語ってくれました。充実した学業にキャンパスライフを過ごされることと思っています。新しい生活に向かって頑張ってください。

障害者スポーツ教室・スポーツクラブに 年度末貸出を贈呈しました

2月19日(日)、富山県総合体育センター中会議室で、富山県と富山県障害者スポーツ協会が主催する「障害者スポーツ指導員・障害者スポーツ教室・クラブ代表者連絡会議」の終了後、障害者スポーツ教室スポーツクラブに5万円ずつの年度末貸出の贈呈を行いました。今年度の贈呈先は以下の8団体です。

- パラ空手道
- 聴覚陸上競技
- 障害者登山
- 卓球バレー
- ハンドバイク
- ブラインドマラソン
- ボッチャ
- 車椅子マラソン



最初に、長原事務局長が「先日、パラリンピックや男子シングルの国際大会全てで優勝し、グラッドスラムを達成された国枝慎吾さんが世界1位のまま「やり残したことは無い」との言葉を残して引退会見を行われました。障害のあるアスリート

たちが限界に挑む姿は、見ている私たちにも深い感銘を与えます。本日おいでいただいた皆さんが練習や試合に汗を流しておられる活躍ぶりも、国枝選手と同じように光り輝いていると思います。 略

その活動を支援するために、本日、寄付金をお届け出来ること大変うれしく思っております。障害者スポーツの発展、充実のために役立てていただけますようお願いいたします」と挨拶をいたしました。

その後、8団体の代表に貸出金をお渡ししました。各団体からお礼の言葉が届いています。いくつかの団体を紹介します。

【車いすマラソン】

県外で開催される車いすマラソン競技大会の遠征費として使用します。これからも練習にいつそう励み、全国大会に参加したいと思えます。

【聴覚陸上競技】

聴覚障害者陸上競技を通して全国の仲間との絆を深めて、性別、年齢を問わず、地元での活動に力を入れています。今後とも、障害者スポーツの普及発展に努めて参ります。

【卓球バレー】

卓球バレーを誰でも分かるようにそして広く普及させるために競技の特性やルールの絵本冊子を作成し配布します。この絵本

で競技人口を増やしていきたいです。

【ハンドバイク】

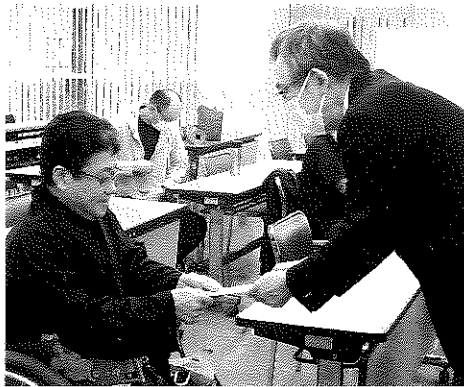
ハンドバイクやロードバイクの修理メンテナンスの他、反射材や点灯ランプなど安全確保のために用具を充実させたいと思います。安全・安心にサイクリングを楽しむために大変助かりました。

【障害者登山】

視覚障害者の登山介助のための安全装備品、他の登山者に合理的配慮を求めめるためのゼッケンなど定期的に更新整備せねばならず、その資金に難儀していました。

【ポッチャ】

コロナ禍でポッチャの県内外の大会が無くなりました。今年度はコロナ禍前に行っていた「能作杯」ポッチャ大会を再開し交流の楽しさを味わいたいと思います。そのために、使わせていただきます。



マラソンランナーから

すてきな預託をいただきました

2月6日の午後、H様が善意銀行を訪問され、預託金を置いて行かれました。

預託金が1、597円と細かい金額で、持参された封筒に〇月〇日〇〇円と書かれていたので、どのような趣旨の預託か興味がありました。

すると、マラソンが趣味で練習で走った距離(km)を貯めているとのことでした。天気の良い日には戸外で悪天候時には体育館やランニングマシンで毎日10kmほどは走り込んでおられるそうです。そして、年に数回はフルマラソンに参加し、自己記録を伸ばしておられます。その自分の走行記録を付けるのと同時に普段走っている道路で起こる交通事故による交通遺児への支援のために距離分のお金を貯めてきたそうです。

ご自身の趣味だけに留まらず、温かい思いをもっておられることに本当にうれしくなりました。交通遺児のため困っている方々のために、思いのこもった預託金を大切に使用したいと思います。ありがとうございました。

「第59回感謝の集い」は、コロナ禍のため本年度も中止しました

2月23日(祝・木)に予定していた、「第

59回親切善行感謝の集い」は、今年も新型コロナウイルスの影響を考慮して中止にしました。4年連続の中止は本当に残念です。

今年度は113人の個人、111の団体の善行に対して顕彰状を贈ることができました。今年も心温まるたくさんの方の善行がありましたのでいくつか紹介します。

【石動小学校6年生】

下校時、高齢女性が自宅の場所が分からず道に迷っていたので、友達らと協力し適切な対応をして無事家族に引き渡しました。

【戸出東部小学校4年1組】

「戸出の町をきれいにし隊」として、ごみを分別・拾う活動を続け、後にポスターやパンフレットの作成、紙芝居動画の発信をしました。

【楡原中学校】

書き損じはがきの回収を校内で呼びかけるだけでなく、地域にも働きかけ、富山ユネスコ協会に寄付をしました。

【舟見エコライフサポート】

古紙の搬出が困難な世帯を訪ねて訪問回収及び安否確認をし、関係団体の情報を伝えました。古紙回収の収益を地区に還元しました。

来年は善意銀行創立60周年記念式典と兼ねてぜひ実施したいと思っています。

親切運動推進協力委嘱校の取組紹介 親切運動の輪が広がっています

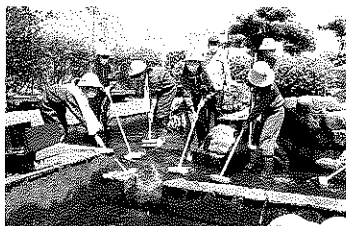
「おもいやり運動」を合い言葉に

黒部市立生地小学校

本校では、「おもいやり運動」を合い言葉に、挨拶や思いやり、親切、ボランティア等に関わる活動の充実を図っています。

- 「お」大きな声で挨拶をしよう。
- 「も」ものを大切にしよう。
- 「い」生地の町をきれいにしよう。
- 「や」やさしい心をもとう。
- 「り」リサイクルを進めよう。

その一つに、毎年、上学年が参加している「名水公園」の清掃があります。生地地区の大きな行事に合わせて、年に数回、地域の方々と一緒に公園の自噴井戸と水路をきれいにしており、交流の場にもなっています。清掃後に振舞ってくださった水団子とラムネジュースの味は、きれいになった水路を流れる湧水の清涼感と相まって、子供たちの心に染み渡りました。新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、対外的な活動が制約される今日ですが、今年もこの活動に参加することができました。



水路を磨く子供たち

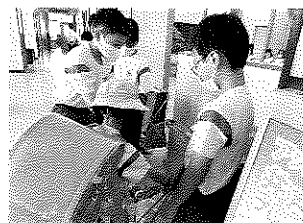
これからも、子供たちの身近でできることから、「おもいやり運動」の輪が少しずつ広がっていくことを願っています。

自分たちができる活動を大切に

南砺市立福野小学校

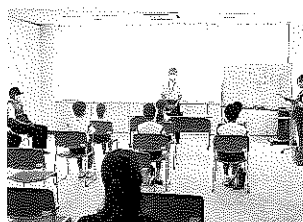
1 アルミ缶回収

アルミ缶回収の収益金で、貧困に苦しむアジアの子供たちが安全な水を飲めるよう、学校に井戸を送っています。ボランティア委員会が中心となり、毎月回収しています。ボランティア委員が校内放送で全校に伝え、一人でも多くの子供が協力できるように取り組んでいます。また、地域の方にもたくさん協力していただいています。



2 ふくの少年ハーティクラブ

高学年の希望者が南砺市社会福祉協議会福野支所の皆さんと一緒にボランティア活動を行っています。年間5回の活動の中には、社会を明るくする運動に関する案内の配布や、歳末の安全を呼びかける活動等があります。第1回の活動では、案内の配布を振り返り、「地域の役に立った」と達成感を感じる児童もいました。地域の方とのつながりを大切に、活動を続けていきたいと思っています。



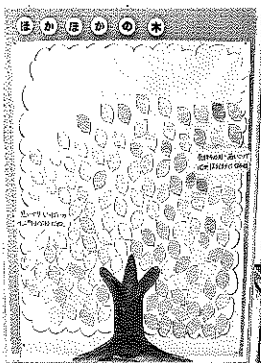
さわやかな挨拶で笑顔いっぱい

氷見市立十二町小学校



毎年6月に中学校と合同で行ってきた挨拶運動。この2年間は、コロナ禍のため、実施できませんでしたが、今年は6年生が話し合って、学校独自の活動として実施しました。「さわやかに挨拶をすることで、十二町小学校のみんなが気持ちよく笑顔で過ごせるようにしたい」と考え、放送やポスターで全校に呼びかけました。朝、6年生が玄関に立ち、明るく挨拶すると、「おはようございます」と返す元気な声が響きます。進んで挨拶する子供たちが増えました。

「ほかほかの木」のコーナーにも、「元気よくあいさつができてよかったです。これからも続けていきたいです」「今日、お客さんに自分から元気よくあいさつができました。」などのカードが見られました。今後も明るい挨拶の声と笑顔があふれる学校を目指していきます。



相手を思いやる心を育てる、

たてわり班活動

上市町立宮川小学校

本校では、全校児童を12のたてわり班に分け、6年生が班長となって様々な活動を行っています。5月に実施した「歩き遠足」では、近隣の公園まで班ごとに歩いて行き、遊具で遊んだり、班で計画した遊びを楽しんだりしました。6年生が班長としてリーダーシップをとる初めての活動でしたが、下級生の様子を気にかけてながら、自分の役割を果たそうと努めていました。全校児童が関わる様子から、相手を思いやる心が育つよう、人間関係づくりを大事にしていきたいという思いを、教職員で共通理解しました。



生徒会一丸となって取り組む親切運動 富山市立芝園中学校

本校では、昨年度の後期から、執行部および6つの専門委員会がSDGs（国連持続可能な開発目標）に貢献することを意識して、活動に取り組んでいる。具体的には、一つ一つの活動に対して関連するSDGsの項目を明記し、全校生徒に呼びかけている。ここでは1つの事例を紹介する。
○活動名：Fresh 朝活（生徒会執行部）

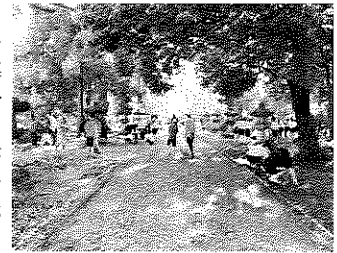
登校時間帯を活用して、有志による挨拶運動や清掃活動を行っている。また、6月には芝園小・中学校、富山中部高校の生徒が合同で行う「さわやか挨拶運動」を実施した。自主的に参加する生徒が多く、元気に挨拶を交わすことで気持ちのよい朝を迎えることができている。併せて、有志を募っての活動は、SDGsの目標の1つである「パートナーシップで目標を達成しよう」と関わっており、一人ではなく、仲間と共によりよい学校を創り上げようとする意識の向上にも繋がると考



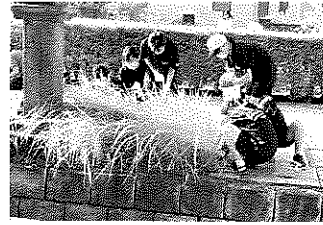
活動後には「生徒会ニュース」と題して、活動の成果や今後の課題等を全校生徒にフィードバックすることで、生徒会員で思いを共有し、よりよい学校づくりを通して、持続可能な社会の実現に貢献する意識を高めている。

前田公墓所清掃ボランティア 高岡市立芳野中学校

芳野中学校の隣には、二代加賀藩主前田利長の墓である「前田利長公墓所」があります。前田公墓所は、1646年に造営された350年以上の歴史がある史跡です。現在までに富山県指定文化財史跡に選ばれ、2009年に石川県金沢市の「前田家墓所」とともに「加賀藩主前田家墓所」の名称で、国の史跡指定を受けました。



この歴史ある前田公墓所を保存するために校区の下関小学校の児童、地域やPTAの方々と清掃するのが「前田公墓所清掃ボランティア」です。歴史ある活動で、これまで多くの先輩方が参加しました。新型コロナウイルス感染防止のため、今年は3年ぶりの開催でしたが、朝早くから7割以上の生徒が参加し、ごみ拾いや除草を行いました。どの生徒も積極的に取り組み、終了後は「参加してよかった」「きれいになってうれしい」などの声が聞こえ、意義のある活動となりました。



私たちの活動

(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動